

\*\*2008年8月改訂（第4版 日局名称変更による）  
 \*\*2002年7月改訂

漢方製剤

三和 柴胡桂枝湯 工キス細粒

柴胡桂枝湯

S-24

日本標準商品分類番号	875200
承認番号	61AM第3603
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年11月

貯法・取扱い上の注意

吸湿しやすいので、使用後は密栓し、直射日光を避け涼しいところに保管すること。

使用期限

ラベル又は外箱に表示。

本品は傷寒論・金匱要略に記載されている「柴胡桂枝湯」の水製エキスを細粒剤にした服用しやすい製剤である。

【組成】

本品1日量（7.5g）中、下記の柴胡桂枝湯水製エキス4.3gを含有する。

日局サイコ	5.0g	日局ニンジン	2.0g
日局ハンゲ	4.0g	日局タイソウ	2.0g
日局ケイヒ	2.5g	日局カンゾウ	1.5g
日局シャクヤク	2.5g	日局ショウキョウ	1.0g
日局オウゴン	2.0g		

\* 添加物として乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、軽質無水ケイ酸を含有する。

【性状】

本品はかっ色の細粒で、特異な芳香を有し、味は甘く、やや辛い。

【効能又は効果】

自然発汗があつて微熱、悪感がし、胸や脇腹に圧迫感があり、頭痛、関節痛、食欲不振、下痢、悪心などを伴うものの次の諸症

感冒、胃痛、腹痛、神経痛、胆嚢炎、胃酸過多症

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1) カンゾウ含有製剤 (2) グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。（「重大な副作用」の項参照）	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

(1) 重大な副作用

- 間質性肺炎**：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常（捻髪音）等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、直ちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。
- 偽アルドステロン症**：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ミオパシー**：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- 肝機能障害、黄疸**：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、 $\gamma$ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 <sup>注1</sup>	発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等
消化器	下痢、便秘、消化不良等
泌尿器 <sup>注2</sup>	頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、膀胱炎等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。  
 注2)このような症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量する等注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

7. その他の注意

類似処方の小柴胡湯では、インターフェロン $\alpha$ との併用例で間質性肺炎の副作用が多く報告されている。

【包装】 500g、2.5g×300包



三和生薬株式会社  
 宇都宮市平出工業団地6番地1

FH